

子ども施策特別委員会

送付 20 - 14

千代田区の子ども育成指針の策定と、その協議に有識者や保護者を
交えることを求める陳情について

受付年月日 平成 20 年 10 月 6 日

陳 情 者

陳情書

【陳情の要旨】

千代田区の子供育成指針を検討する場を新設し、ここで指針策定を行うこと
上記の検討の場には、保育・幼児教育分野の有識者と保護者を加えること

【陳情の趣旨】

現在、千代田区の保育・教育園施設では、麹町保育園の建て替えに伴う民営化計画や、再開発計画に伴う神田保育園の仮園舎再移転と運営形態の見直し、飯田橋保育園と富士見幼稚園のこども園への移行といった行政計画が進められています。これらの計画は、乳幼児の成育環境に影響を与えかねないだけでなく、保育・教育行政の根幹に関わるにもかかわらず、区としてのガイドラインも持たないまま、運営形態の移行がなし崩し的に進められている印象が拭えません。

また、それらの計画を推進するにあたり、例えば麹町保育園の民営化計画では、民営化説明会開始後1年を経過しても、民営化の最大の理由に挙げられる夜間や病後児サービスなど通常保育以外のサービスの需要予測や、民営化後に行政側に発生する管理コストを勘案した圧縮費用の見込み、移行期のリスク検証などは一切行われていません。

今、千代田区では子どもに関わる施策の体系化を計画しているようですが、民営化のガイドラインもなく、先行事例の検証も充分になされない現在の体制のままでは、今後、保育園やこども園、幼稚園、さらには学童保育、児童館など、一連の育児支援施設の位置づけが変わり、運営形態が変更されることになっても、その判断の是非を問うことすらできなくなると思われます。

現在行われているような建物の建替え計画が先行して運営形態の変更が付随される計画ではなく、区内の子ども関連施設全体をどうするのかを、子どもにとってふさわしい成育環境のあり方から、判断し決定していただけることを望みます。

つきましては

- 1) 千代田区の地域特性を踏まえた子どもの成育環境・育成施設のあり方を検討する場を設けたうえで、子供育成指針を策定してほしい
- 2) その協議の場には、保育・幼児教育の分野に精通した有識者や、保護者なども交え、意見を反映できる仕組みにしてほしい

以上の2点を陳情申し上げます。

平成20年10月6日

千代田区議会議長

高山 はじめ 殿